あ　い　さ　つ

佐賀県公立学校教頭会
会　長　足　立　成　美

今年は例年になく早い梅雨明けとなり、暑い夏が厳しく長く続いています。この暑さに負けない熱い期待をもって、令和７年度、第57回佐賀県公立学校教頭会研究大会が、会員の皆様にご参集いただき開催できますことを、心より嬉しく思います。また、会員の皆様並びに関係諸機関の方々に、日頃より本会の活動に温かいご理解とご支援を賜っておりますこと、深く感謝申し上げます。

さて、予測困難な現代において特に教育現場では、人材確保、教育ＤＸの進展、いじめや不登校対応等、様々な教育課題の解決に向けて、副校長・教頭に求められる職責は大きいものとなっています。第４期教育振興基本計画では、２つの大きな柱（コンセプト）として「持続可能な社会の創り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」が掲げられました。これらの課題解決と目標遂行を目指して、佐賀県公立学校教頭会は、各会員、関係諸機関の皆様と、連携、協働して取り組んでまいりたいと考えています。

今年度は、全国統一研究の第13期の３年目（最終年度）となる節目の年にあたります。３年間の各地区での研究成果に、明日からの実践に生かせる知見と勇気を得る場となります。今年度、大会の時期が早く（例年は秋に実施）なっているのは、来年度からの３年間が14期となり、新しい課題での研究を始めていただくことになるため、なるべく今年度中に次の研究に取り組めるようにとの配慮からです。ご理解いただけたら幸いです。なお、本大会に関して佐賀県では、昨年度も研究大会を完全参集型で行うことができており、副校長・教頭同士がお互いに顔を合わせて、思いや課題を実際に交流することで熱量を直接感じることのできる大会となりました。今年の大会も、各地区からの提言に学び、グループ協議での対話を通して、これからの職務や課題解決のヒントを得ることで、互いに「学びあい」ながら「つながりあう」職能集団としての機能を高めていくことができればと思っています。

総会でお知らせした通り、本教頭会は令和８年度に「九州地区公立学校教頭会研究大会佐賀大会」を開催する予定です。今年度から実行委員会を組織し、九公教大分大会の視察を行うなどの準備を進めています。令和８年８月19、20日にここ佐賀の地で開催する九公教佐賀大会が、参加者全員にとって有意義な会になるよう力を尽くしてまいります。ご理解ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

最後になりますが、ご多用の中、各分科会で指導助言を賜ります校長先生の方々に感謝申し上げます。また、貴重なご提言をいただいた各地区からの代表の先生方や役員の先生方、また、本大会の開催にあたり、ご準備・ご協力をいただきました教頭会理事の皆様、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。お集まりの皆様の今後ますますのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。